

令和5年度学校評価 結果報告について

学校評価委員会

成果と課題及び今後へ向けた改善案について

1 成果

- ☆全体集計ではほとんどの項目で A・B 評価が 80%以上であることから、今年度の学校運営については適切な取り組みをしていると評価されたものと受け止める。
- ☆自由記述で肯定的な意見を多数いただいていることについて、これまでの教職員の努力のたまものと受け止めて、周知・確認しながら今後も継続していけるよう努めていく。

2 課題及び今後へ向けた改善策 (評価 C・D が 20%以上の項目について)

(1) 教職員自己評価 No.24 について

- 校内で検討した結果、校外学習での地域資源・施設の活用や地域の人材を招いての体験・指導・鑑賞会などの開催を積極的に行っている現状を確認できた。コロナ禍前の取り組みへと復活している途上でもあることから、次年度へ向けて今年度と同様の活動を計画するとともに、より積極的な展開も考えながら計画を進めていく。

(2) 保護者アンケート No.7 について

- ICTを活用した授業や児童生徒が使用して学習することは行っているため、今後も継続して、またより学びを深める活用の仕方を探求しながら活用を進めていく。
- 保護者に対する広報が足りない面もあると考えられることから、各種お便りで取り上げたり授業参観で活用したりするなど、お知らせの仕方を工夫していく。

(3) その他

- 通学バスについて
 - 運転の仕方など関係する意見が挙げられていることについては、バス会社とのやり取りの中で伝えて改善を求めていく。
- 児童生徒への接し方について
 - どの児童生徒も一人の人間として尊重しながら向き合う姿勢を持ち続けて行くことを、全職員で確認する。その上で、知的障害教育の難しい面にどう対応していくか、知恵を絞り、学び合い、力を合わせながら向き合っていくことが必要と考える。全職員で実践力を高め合っていくプロフェッショナル集団として知的障害教育に携わっていることを意識し、誇りをもって児童生徒と向き合っていきたい。